

令和元(2019)年12月19日
第 72 号
 会明一子子行男子
 稲門吉俊美信秀昭俊
 世田谷田並多山子内林果
 世横榎秋兼大若鷲
 発行人集
 事務局 〒157-0062
 世田谷区南烏山 5-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田 昇(とだ のぼる)



世田谷稲門会会報

令和二年新春懇親会

浜田正幸氏を迎えて

1月26日(日)午前11時から
 青山アイビーホールにて

令和になり最初の新春懇親会
 は青山のアイビーホールにて開
 催予定です。

第一部は多摩大学の浜田正幸
 教授を迎えて「人生100年時代の
 キャリアデザインー心理学の最
 前線から幸福な生き方を考え
 るー」と題して講演をして頂き
 ます。

第二部は美味しい料理とお酒
 で、楽しい仲間と歓談をお楽し
 みください。例年通り福引も予
 定しています。

講師紹介
 浜田 正幸 (はまだ まさゆき)



多摩大学大学院・多摩大学経
 営情報学部教授、経営コンサ
 ルタント。
 1984年 早稲田大学第一
 文学部心理学専修卒業、早稲
 田大学体育局自転車部修了
 1987年 早稲田大学大学



院心理学修士課程修了、本
 技研工業入社
 世界最高峰の自動車レースFI
 プロジェクトにチーム・コー
 ディネータとして参画
 ホンダの第二期参戦期、アイ
 ルトン・セナやアラン・プロ
 スト、中嶋悟などとサーキット
 を転戦
 1991年 野村総合研究所
 にて経営コンサルタント
 2000年 独立、ベンチャー
 起業。さらに数社のベンチャー
 の創業を経て、現職

会費は8000円です。
 皆様お誘いあわせの上、
 是非ご参集ください。
 ※会場は東京メトロ表参道駅
 B3出口から徒歩5分
 詳細は同封の新春懇親会の
 ご案内を参照ください。

(戸田 昇/記)

稲門祭

ホームカミングデー

令和になって初めての稲門
 祭は10月20日(日)に開催さ
 れました。

新築された早稲田アリーナ
 (旧記念会堂)でホームカミン
 グデーが開催され、卒業後15
 年、25年、35年、45年、50年
 の招待年の皆さんが集まりま
 した。

当会では例年通り大隈庭園
 にて焼鳥・ビール・烏龍茶の
 模擬店を開きました。

模擬店の売り上げを左右す
 るのは何と言っても天気、平
 成25年には一日中雨で寒さに
 震えお客さんは来ず、という
 苦しい思いがあります。今年
 は、朝は少々危ぶまれる雲行
 きでしたが、みんなの願いが
 叶って午後からは快晴となり
 ました。

こうなれば当会得意の体力
 勝負、販売担当の女性陣の元
 気な声を中心にお客さんと呼
 び込み、順調に売り上げてい
 きました。午後3時ごろには
 焼鳥750本が、続いてビール16
 箱(384缶)・烏龍茶も完売出
 来て予定通りの売り上げとな
 りました。
 模擬店の販売・設営にご協

力頂いた田波さん、谷口さん、
 酒井さん、村本さん、有難う
 ございました。また幹事の皆
 さん、お疲れ様でした。
 (林 馨/記)



令和元年 納涼会
 真夏の休日にバス旅行で
 パーベキュー(BBQ)

令和最初の世田谷稲門会納涼会は「ビール工場見学とパーベキュー(BBQ)の会」と銘打って9月8日(日)に世田谷から大型バス一台をチャーターして横浜市内の「キリン横浜ビアビレッジ」にて開催されました。今年の企画担当ブロックはげやき会です。

参加者は55名で朝9時に豪徳寺駅付近から36名を乗せて出発し、さらに途中の二子玉川駅近辺で残り19名の参加者が乗車しました。参加者には横田吉明会長の他に近隣稲門会から杉並稲門会の久保田貞夫名誉会長、中野稲門会の小柴雅人副会長兼幹事長、笹田裕副幹事長と豪華な顔ぶれがそろいました。

往路の車中では幹事側が用意した「早稲田検定」を実施しました。2択問題が8問出題され回答用紙に記入し提出した頃に、まず横浜中華街に到着です。猛暑の中お土産や中華の食材等を買求めたり関帝廟をお参りしたりする行動派の方々、バスの駐車場の休憩室で体力を温存する方々と時間の過ごし方はまちまちで



した。正午前にビール工場に到着し最初に全員で記念撮影、次に2組に分かれて女性係員の案内と説明を受けながらビールの製造工程を見学、最後は出来立ての3種類のビールの試飲が待っていました。

見学後はいよいよ今回の目的である工場に併設されたレストラン「ビアポート」での「ビール飲み放題のパーベキュー(BBQ)」の開始です。横田会長のご挨拶、杉並稲門会及び中野稲門会からの来賓のご紹介の後、車中で実施した「早稲田検定」の成績優秀者の表彰式がありました。8問中7問正解の2名及び6問正解の3名合計5名の方に表彰状と賞品の授与がありました。



その後、げやき会の小倉代表世話人による乾杯の音頭で会が始まりました。ビールのお替りは生ビールサーバーから自分で好きなだけ注ぎ、まさしく「飲み放題」、BBQは肉、野菜とも量的には十分なようでした。16時には会場を後に帰路に着きました。



帰路の車中では、レストランでは歌えなかった校歌を全員で高らかに歌い上げました。ほぼ定員一杯のバスはやや窮屈そうでしたが、天候に恵まれたプチ旅行納涼会は心配されたトラブルや「行方不明者」も発生する事無く、朝集合した場所です事に解散する事が出来ました。

(齋藤 正憲/記)

＝母校の今＝(第 37 回)

《早稲田と東京五輪2020を繋ぐ「VIVASEDA」が誕生!》

早稲田から東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるべく学生ボランティア活動を担うオリパラ・プロジェクトの中心、「VIVASEDA」が誕生した。

この団体名は、イタリア語などで「万歳」を意味する VIVA と WASEDA を合わせ、さらに VIVA の 2 つの V を重ねると「W」となることから命名された。現在、学生約 200 名が所属。

「広報」「イベント」、「ボランティアコーディネーター」の 3 部門があり、各リーダーが定期的に情報を交換、連携し取組みを進めている。

「各部の役割と活動」

◎ 広報部

Twitter など SNS での情報発信・広告や、早大広告研究会と共同で動画配信を実施する。

◎ イベント部

理工学術院の研究室と協力して競技を疑似体験できる VR を開発、稲門祭や地域イベントで体験の場を作り公開する等イベントで早稲田パワーを発信。

◎ ボランティアコーディネーター部

オリンピックと学生ボランティアのコーディネーションを行う。因みに今年 7 月、イタリアの競泳選手団 35 人が所沢キャンパスで世界水泳選手権大会の事前トレーニングを実施した際、選手団との架け橋役を見事に務めあげた。

「VIVASEDA」の今後に期待する。(大内 秀行/記)



①「VIVASEDA」のリーダーの面々



②早稲田・所沢キャンパスのアクアアリーナ

前列は向かって右から、山本皓大君、曾根脩君、山県優菜さん
後列は右から、村上健太君、ソングジュンさん、伊藤大智君

イタリア競泳チームの事前トレーニング風景

世田谷ぶらさんぽ

第10回



小田急線の線路が地下化されて新しくなった下北沢駅を降りると、眼前には開けた光景がある。また整備中ではあるが広場の向こうには代々木のドコモタワーが見える。いずれは公園や遊歩道になるものと思う。駅近くには本多劇場やスズナリなど大小の劇場や芝居小屋が沢山あり、演劇や漫才のメッカとなっている。また商店街には古着屋や飲食店も多く、若者たちであふれかえっている。毎年「カレーフェスティバル」が開催されている。南口商店街を左に 100m ほど歩くと、茶沢通りに入る。下北沢と三軒茶屋を結ぶ地元の幹線道路だ。この道を歩いてもよいが、車が多いので一筋入ったところを平行に走る遊歩道を三軒茶屋方面に向かって歩く。10分も歩くと遊歩道は終点となり左手に森巖寺がある。浄土宗に属し 1608 年に結城秀康(※)の位牌所として建立された。また、境内には森巖寺経営の淡島幼稚園が併設されている。実は筆者は 68 年前にここに通っていた。森巖寺からものの 1 分としないで左手に北澤八幡神社が見える。起源については必ずしも

明確ではないが、世田谷城主であった吉良家が勧請したと伝えられる。境内には本殿の他に神楽殿などもあり、毎年 5 月のゴールデンウィークには代沢芸術祭が開催され、当会の寺島邦夫さん (S38 政経) がバンドを率いてニューオーリンズジャズ演奏を披露している。因みに宮司の矢島嗣久さん (S32 法) は当会会員である。

※注釈：徳川家康の次男

(榎並 俊一/記)

【アクセス】小田急線、京王井の頭線「下北沢」から徒歩10分、その他バスも数路線あり、「代沢小学校」バス停が近い。



下北沢・森巖寺・北澤八幡神社

ブロック会だより

玉川

今回の世田谷稲門会玉川会のイベントは、昨今の移転報道で話題となった豊洲新市場と新設の築地場外市場を見学し、旧築地界隈で美味しい寿司ランチを楽しもうという企画でした。6月25日(火)は、前日までの梅雨空から一転した好天に恵まれ、りんかい線からゆりかもめへの乗り換えもスムーズに18人の参加者が無事に豊洲市場のある市場前駅(ゆりかもめ)に到着いたしました。

豊洲新市場(旧築地市場の2倍の敷地)は、水産卸売棟・仲卸売場棟、青果棟・管理施設棟からなる約40ヘクタールのスケールの大きさです。

我々一行は、外人観光客も多い人込みの中、水産仲卸売場棟を見学したあと、屋上緑化広場に移動、高層ビル街や建設中のオリンピック施設、レインボーブリッジなども見える絶景を堪能しました。管理施設棟にあるバス停から、築地六丁目まで都営バスにて移動。新装なった築地場外市場を散策しました。豊洲市場では業者・市場関係者が中心であり、一般来場者が買い物することができないので、築地場外市場は出店数も多くお手ごろな値段で色々な海産物を買付けするには最適な場所となります。

最後がお待ちかねの寿司で仕上げ!かなりのウォーキングの後だけに、ビールやお酒の美味かったこと。参加の女性たちにも好評な寿司ランチ・イベントでした。
(谷口 幸一郎/記)



西北

○「高尾山ピアマウント」

令和元年7月13日(土)16:00よりはるばる高尾山へ遠征、西北会を実施した。小雨煙る幻想的な高尾山での飲み放題・食べ放題のピアマウント。本部より富塚さんも参加され、13名の有志で実行しました。3連休の初日とあって若い世代の集まりを中心に館内外(外はテント、我々は館内)は満員の大盛況であった。今回は参加者が少なかったが、その分交流の密度が濃く、飲みながら食べながら四方山話は尽きることがなくあっという間に2時間が過ぎた。

○「サポーター会開催」

令和元年9月20日(金)18:00より下北沢「つ串亭」にて10名でサポーター会を実施。今回のテーマは「秋のイベント」について。提案の都度、逐一ディスカッションを重ねた結果、「11月18日・NHK見学&懇親会」と決定。早くも『あさいち』のリハーサルなどスタジオ見学に期待が高まった。
(桃井 清治/記)



キャロット

令和元年10月18日(金)正午より246号線三宿交差点の近くのロシア料理「サモワール」に於いて、キャロット会親睦昼食会を開催しました。料理はピロシキ、ボルシチ、ジェルコエ等美味しく、又ロシアビール、ワイン、ウオッカの飲み物で歓談に花が咲きました。貸し切りでない為、校歌斉唱又三本締を行わず午後2時にお開きとなりました。

参加者は遠藤 智、河井洋介、佐藤清美、佐野淑子、富塚兆弥、濱野千鶴子、星野 裕、森 昌治、和田光弘、和田聡美の10名でした。

(富塚 兆彌/記)



千歳

2019年度第2回目の懇親会を11月24日(日)午後1時から、京王線高幡不動駅近くの「すし おおまさ」にて開催しました。

懇親会に先立ち、今年は新選組副長・土方歳三が函館戦争で没してから150年ということで、ゆかりの場所を訪ねました。11時に有志が高幡不動駅に集合し、モノレールにて万願寺駅下車、歳三の墓のある「石田寺(せきでんじ)」へ。その後、歩いて約10分の歳三の生家跡に設けられた「土方歳三資料館」を訪ね、歳三と最期まで共にした愛刀「和泉守兼定」などゆかりの



遺品を見学しました。浅川沿いを20分ほど散策しながら、高幡不動駅まで戻りました。

午後1時から本部の横田会長・國澤幹事長・斎藤事務局長補佐、さくら会の小口代表世話人にもご出席いただき、懇親会を開催しました。稲門祭記念品購入について目標達成の報告とお礼、新春懇親会案内などの事務連絡の後、食事会に入りました。料理とお酒を味わいながら歓談に花が咲き、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

懇親会后、土方歳三の菩提寺である「高幡不動尊金剛寺」へ参詣した方も大勢いました。(戸田 昇/記)

きぬた

きぬた会暑気払いの会

令和元年8月24日(土)、三軒茶屋のキャロットタワー26階にあるスカイキャロット、オークラレストランにて14名が参加して暑気払いの会が開催されました。

まずはきぬた会代表世話人の榎並俊一(S46理工)から開会の挨拶があり、続いて本部からご参加の横田吉明会長(S38商)にご挨拶をいただきました。出席者中最年長の伊藤誠三さん(S36理工)の乾杯の音頭で暑気払いの会が始まりました。中国料理のコースとビール、ワイン、焼酎、紹興酒などのアルコールで喉を潤しました。

途中、稲門祭の記念品購入の願いをし、ご協力をいただきました。また、参加者全員の近況報告があり和気藹々とした雰囲気の中であっという間に2時間が過ぎてしまいました。最後に地域サポート活動部会から寄付の依頼があり、12,000円超の寄付金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

締めは前代表の國澤俊一幹事長(S43理工)にご挨拶いただき解散となりました。

(榎並 俊一/記)



けやき

今期最も重要な報告事項は、何といてもけやき会が世田谷稲門会納涼会を企画し、無事開催できたことです(本号の報告参照)。

当会は「行動するけやき会」を標ぼうしておりますので、当初から郊外に出て何か面白いことをしようという発想で企画を進めました。色々と楽しいアイデアが出て夢は広がりましたが、最終的には予算の都合で今回の横浜へのバスツアーという企画になりました。

キンピール横浜工場の見学を団体で予約するのは非常に難しいことでした。6月1日午前10時、世話人総出で予約センターに電話をかけましたが、予約できたのは筆者一人だけ。裏技を使ったわけではありません。接続に必要な時間などを勘案して、時間の35秒前からダイヤルを始めたのが功を奏したようです。世話人会内部では「35秒の奇跡」と呼ばれています。

目標の100名参加は実現出来ませんでした。皆さんに喜んでいただける企画になったことを大変うれしく思います。

(花澤 隆/記)



さくら

秋のさくら会懇親会を、令和元年10月27日(日)に三軒茶屋の銀座アスターにて、本部から横田会長、鈴木副会長(千歳会代表世話人)、ブロック会統括担当の真木幹事の3名をお迎えして、15名の参加のもとで開催しました。

横田会長などからは世田谷稲門会の活動などを含めたお話がありました。

各テーブルでの会食・熱のこもった懇談の途中で、新入会員で初出席の安達弘高さん(S50政経)から自己紹介がありました。いろいろな経歴を含めた含蓄のあるお話でした。

安達さんのあと、数名の会員によるスピーチがあり、中村京さんからはレディースクラブの活動の紹介とともに、募金のお願いがあり、あとで聞くと多額の募金があったとのことでした。

たいへん楽しい会を終え、恒例の校歌斉唱と記念撮影で締めとなりました。

(小口 浩一/記)



特別部会だより

地域サポート活動

地域サポート活動部会は、世田谷稲門会の皆様からの温かなご寄付やバザー売上げをもとに、主に世田谷区内の恵まれない子供達の支援を行っております。

10月末現在、708,131円の募金残高があり、部会では寄付先を検討してまいりました。協議の結果、①キッズファム財団(一般財団法人重い病気を持つ子どもと家族を支える財団)に年間10万円、②世田谷区児童養護施設退所者等奨学基金に年間5万円、以上2件を固定の寄付先、金額と決定致しました。

今年度は残高に余裕がありますので、前記の②に5万円をプラスし、計10万円を寄付金額とします。更に③としてNP Oフリースクール僕んち(不登校登校拒否親の会ひきこもり支援)に今年度のみ5万円を寄付いたします。

こうした支援も、皆様のご厚意の賜物と御礼申し上げます。今後とも引き続き子ども達への支援の輪を広げられますよう、よろしくお願い申し上げます。
(濱野 千鶴子/記)

青年

青年部会は、令和元年初めての例会を7月25日(木)に新日鐵代々木倶楽部で開催しました。岡本世話人が幹事を務め、初参加1名を含む15名が参加しました。久しぶりに参加された方、新聞記者のご経験を持つ大学講師の方も交えて、様々な業種の出席者が楽しく語り、交流しました。さらに8名の会員が同倶楽部の地下のバーでの二次会にも参加し、石庭を楽しみながら、懇談しました。



次回の例会は、荻野世話人の幹事により11月19日(火)19時から用賀倶楽部にて行われる予定です。17名の会員から参加表明があり、素敵な雰囲気のレストランで食事を楽しみながら、異業種交流が出来ることと思います。
(中島 史郎/記)

レディースクラブ

令和元年度のレディースクラブ講演会は11月16日(土)2時から3時半まで、下北沢タウンホール2階の第1会議室で開催いたしました。

世田谷稲門会副会長で、私たちレディースクラブの応援団長にもなっている露木 茂さんに「令和新時代メディアの過去現在未来」と題してお話いただきました。

まず、大学でも教べんを取られているご講義のなかで学生さんたちに話されている、メディア、マスメディアとは?というお話から始まりました。政治とメディアの癒着は厳に慎むべきであること、それがジャーナリズムの客観性、中立性を保つことになるというお話から、昭和天皇崩御の際の特番づくり、田中角栄氏の単独インタビューなど当事者だからこそその秘話も伺いました。

また、GAFAの存在とその影響力、新聞の行く末など多岐にわたる深い洞察に、時間のたつのがあっという間でした。ご参加の皆様(男性16名、女性16名、計32名)それぞれが、メディアの過去現在未来を思い描かれたことと思います。

(谷口 佳代子、濱野 千鶴子/記)



趣味の部会だより

スポーツ観戦

■野球

慶応が好調だ。優勝争いは慶応と法政に絞られた。法政が次週の東大戦で1敗するか、慶応が11月2日(土)からの早慶戦で1勝すれば慶応の3季ぶりの優勝が決まる。

■ラグビー

昨年度大学日本一となった明治と早稲田、帝京の争いだらう。明治は相変わらず強力FWを前面にたてて随所に得点力のあるBKをからめる攻撃が得意だ。その得点力は大学随一だらう。帝京大は例年よりFWが少し小型になったが相変わらず能力の高いBKを有し、悔りがたい。

早稲田は8月21日(水)菅平の練習試合では31対21で帝京に勝っている。早稲田もフロントローが成長して安定したスクラムを組めるようになってきた。BK陣も才能ある選手が育ってきている。特に、バックスリー(両ウィングとFB)

は桑山、河瀬、梅津、松下、南と多士済々で楽しみな存在だ。来年の1月11日(土)の大学選手権決勝が待ちどおしい。

(小林 昭一郎/記)

ゴルフ

第100回記念世田谷稲門会ゴルフコンペは令和元年10月17日(木)、山梨の都留カントリークラブにて開催されました。12日に直撃した台風19号の影響で中央高速と20号線が通行止めとなるアクシデントで、やむなく参加者の皆さんには迂回をして東名高速経由で来場いただきました。本来より1時間以上の遠回りとなりますが、33名の皆さんの参加があり、残念ながら7名の皆さんはキャンセルとなりました。



途中、予想外の雨も降り、大変なコンディションのなかで18ホールを戦い抜き、総合優勝は旭正勝さん(44:44=88)でした。グランドシニア優勝は森昌治さん、シニア優勝は秋田滋さん、レディース優勝は竹入啓子さんと真木道子さんのダブル優勝(集計ミスにより修正しております)、準優勝は境信親さん、3位は榎並俊一でした。

ベスグロはBG常連の小林宏さんの「89」を破って旭正勝さんの「88」でした。

記念大会ということで多くの皆さんから賞品のご寄付をいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。また、レディース優勝の集計でミスがあり、関係者の皆さんには不快な思いをさせていただきました。お詫び申し上げます。

次回は12/3(火)、第101回桜ヶ丘カントリークラブです。

(榎並 俊一/記)

ウォーキング

6月のウォーキングは思い切って東京を離れて6月16日(日)、午前10時30分に小田原駅に11名が集合。当日世話人の熊本ちづるさんの案内でローカル線に乗って終点の大雄山駅と、更にバスにて大雄山最乗寺へと向かいました。大雄山最乗寺では六百年の歴史と自然が織りなす荘厳な世界を散策しました。当寺は応永元年(1394年)に開山された山懐に抱かれた名刹で、天狗伝説のロマンにも溢れており、数々の史跡を見学しながら有意義な楽しい1日を満喫する事が出来ました。



ウォーキング部会は例年通り7月と8月は休み、9月15日(日)、午後1時に7名の参加により原建司さんの案内で隅田川の橋めぐりと称して東向島駅～白鬚神社～セイコーミュージアム～白鬚橋～対馬荘跡～桜橋～秋祭りで賑やかな牛島神社～言問橋～スカイツリーを間近に見る吾妻橋を渡って浅草駅までの有意義な散策を楽しみました。なお、10月13日(日)開催予定のウォーキングは台風19号の影響で残念ながら中止となり、いずれ再挑戦する事になりました。

(江原 利次/記)

カラオケ

■100歳めざす月例会はサロンの雰囲気。毎月第一土曜日午後1時～5時、下北沢中央口駅前<カラオケマック>。当日会費2000円、20号室受付集会后3～4室に入れ替え(出欠返信で部屋割り)。飲み物前後半2回、高野フルーツチョコ付き。

■第147回6/1(13名)、第148回7/6(14名)、149回8/4(14名)納涼会<マダムチョウの店>【写真】、第150回9/7(13名)、第151回10/5(13名)。

■【納涼会プログラム抜粋】♪薄井好雄(柳ヶ瀬ブルース・無法松の一生/度胸千両入り)、江口瞳(天城越え・小樽運河)、江口工(イヨマンテの夜・オオソレミオ)、河内文雄(赤いグラス・白い海峡)、倉田政子(カイマナヒラ・蘇州夜曲)、倉田豊(忘れないで・ダンディズム)、小池早苗(函館の女・長崎の女)、小坂源次(ランナウェイ・君に会いたい)、小島秀樹(Last Waltz・Young Ones)、斎藤治雄(琵琶湖周航の歌・岸壁の母)、豊田恵之助(四季の歌・風の盆恋歌)、内藤娃子(津軽のふるさと・For you)、新田喜男(男の流儀・春恋のれん)、松村秋森(満天の星・わすれ傘)、横山徹(優しいあの子・海)♪



(倉田 豊/記)

食べ歩き

第81回食べ歩き会(令和1年度第1回)は奇しくも令和1年9月27日(金)の開催となりました。

フランス料理のオーナーシェフとして有名な河野 透さんは宮崎県生まれ。1982年渡仏し、星付の有名店でキャリアを積み、1997年恵比寿に「レストラン モナリザ」をオープンされた。ここが今回の開催場所。

はじめに中井代表世話人から挨拶があり、その後久しぶりに参加された世田谷稲門会横田会長からご挨拶をいただき、続いて数人の方々にも近況等お話いただいて、最長老の関根様にご挨拶と乾杯のご発声をお願いして開会となりました。

「お客様の微笑み」「生産者の微笑み」「モナリザの微笑み」を大切に、心を込めた料理が次々と出されました。美味しい料理の他、特に心に留まったのはモナリザの食器で、これは河野シェフのオリジナルデザインだそうで、目を見張るものでした。

和やかな雰囲気のうちには会は進み、最後に原 建司さんの音頭のもと校歌斉唱でお開きとなりました。

(小池 早苗/記)



芸術芸能鑑賞

鑑賞部会の活動も12年目を迎え、当初の会員の希望志向がかなり様変わりしているのです。今後は612回を迎える「三越落語会」を主体とし、一部の「音楽関係」の案内に絞りたいと思う。なお、三越落語会は2か月ごとで、夜間6時からであるが、7月と12月には昼頃に各1回追加で開催される。

次回の定例会は11月21日(木)となる。残念ながら歌舞伎・文楽・オペラなどの鑑賞希望者は当会員では激減している。

(鈴木 宏治/記)

俳句

令和元年6月24日(月)の句会は兼題「鮎」、7月22日(月)の句会は兼題「花火」、8月26日(月)の句会は兼題「柿」、9月23日(月)の句会は兼題「萩」、10月28日(月)の句会は兼題「青蜜柑」でした。毎回、兼題の句の他自由句2句を持ち寄り、桜新町区民集会所で開催致しました。

(富塚 兆彌/記)



高得点句を掲載します。

あじさいや父の句集に潜む母	恵那	(榎並俊一)	譲られし席のぬくもり走り梅雨	雪子	(家井雪子)
荒梅雨の恐山まで至りけり	たか二	(荒居隆二)	聞こえるも聞こえぬも又遠花火	上馬の	(暮田忠雄)
照る柿や唐津の里の赤絵皿	利水	(江原利次)	柿食ふや喜寿の日々是好日	広	(矢後勝洋)
ぬか雨を宿して枝垂る萩の花	まもる	(松尾 守)	蟪蛄や目を三角に睨みをり	兆弥	(富塚兆彌)
タンカーの巡る岬や青蜜柑	6羊	(津島晃一)	野分行き通い猫来ぬ勝手口	勝	(田中 勝)

麻雀

令和元年6月から10月までの麻雀月例会大会の結果をお知らせします。この5回の大会で女性の優勝者が2回、また本年度からの役満賞は2名の方が受賞されました。

6/ 9(日)	参加者28名	優勝: 荘司真恵、準優勝: 小池早苗	3位: 脇坂元彦
7/13(土)	参加者24名	優勝: 村瀬 順、準優勝: 佐藤好司	3位: 河村卓郎
8/11(日)	参加者20名	優勝: 河村暉子、準優勝: 脇坂元彦	3位: 田村逸朗
		役満賞: 河村暉子(大三元)	
9/14(土)	参加者20名	優勝: 桃井清治、準優勝: 矢野貞行	3位: 中村晃二
10/13(日)	参加者24名	優勝: 刀根秀巳、準優勝: 矢野貞行	3位: 石藤 涼
		役満賞: 桃井清治(国土無双)	

敬称略

月例会以外にも毎週水曜日午後には懇親麻雀会や仲間同士の懇親麻雀会も随時開催されていますので、希望の方は用賀の鈴家(麻雀会事務局 03-3700-8199)にご連絡ください。

(佐藤 喬/記)



釣り

6月川崎つり幸よりキス釣り3名出漁。1人20匹前後。7、8月のキス、アジ釣りは台風10号の影響もあり参加者が少ないので中止となった。

溪流釣りは、天城山地蔵堂川で柴田単独釣行で35cm虹鱒を釣る。7月に多摩川六郷土手にて初めて手長エビ釣りに挑戦するもあまり釣れず、小ハゼに邪魔される。地蔵堂川は台風15号により川相が全く変形し、川底もきれいに流され黒川虫は全くいないし、地元の方に聞くと上流より大岩が流れ恐怖を感じたとのこと、魚もすっかり下流へ流されたであろうとのこと。

9月13日(金)京橋新世界にて納涼会を催す。中村、祝原、佐久間さん3名がアラスカ釣行し、大物大漁であった由(写真)。差し入れのオヒョウを中華風に料理していただく。

台風15、17、19号の影響で沖釣りは3回中止となってしまった。ハゼの岡釣りに新たに都営新宿線住吉駅そばの横十間川で2回釣行。木床の歩道で50cm深さで釣る安全な場所であった。餌はホタテ柱で喰いも活発で大いに楽しめた。

今後の予定としては11月4日(月) 剣崎沖でワラサ、鯛五目釣り。ハゼ岡釣りはチョイ投げの岡釣りを江東区の小名木川で行います。最近の釣り部員の参加者が少なくなっているため、初心者の方もぜひご参加下さい。

(柴田 昇/記)



囲碁・将棋

囲碁部

令和元年10月26日(土)、秋の例会をいつもの用賀「ふじみ荘」にて開催。参加者は馴染みの杉並、中野、大田会員含め12名で、優勝は六戦全勝の池松八段、準優勝は杉並の吉開七段でした。次回は1月末の予定です。

また、9月22日(日)に個人戦の稲穂祭囲碁会が初台囲碁クラブで開催され、池松八段が無差別戦で優勝、佐藤七段が三位でした。

(池松 正之/記)

将棋部

10月6日(日)大久保地域センターにて、第5回稲門祭将棋大会が行われました。

世田谷からは、柴田昇、林馨、飯田保則の3名が参加、慶応大学将棋部OBの招待選手3名を含め、総勢12名で闘いが繰り広げられました。結果は柴田さんがBクラスで善戦し3位に、Aクラスでは慶応の田中良幸氏が力の違いを見せつけ全勝優勝、飯田が2勝しかできなかったものの、同率年長者により、3位となりました。

(飯田 保則/記)

写真

いつものように毎月第三木曜日に例会を開き、A4にプリントした写真を展示して皆さんから感想、意見を聞いています。撮影した写真をプリントし、自分一人だけで鑑賞しても自己満足でしかありません。やはり大きく伸ばし、皆さんに見てもらふことはLINEやSNSでの画像やり取りだけでは得られない満足感があると思います。

また、当写真部会も撮影会も実施しましたが、今後はさらに杉並、練馬部会と連絡を取っていますので、交流をしてゆくつもりです。

(石橋 暉彦/記)

例会：10時～13時30分 東京農業大学校友会館2階(原則として第三木曜日)。終了後階下にて昼食、写真談義(時間のある方)。どうぞ見学に来てください。



会員の広場

学生時代の五つの思い出

酒井 春孝 (平01商)



平成から令和に変わり、平成元年の卒業から30年が経った。

私の在学時期は旧校舎の建替えラッシュが始まる直前で、古き良きキャンパス風景がギリギリ残っていた。一部校舎を除いて冷房はなく夏の講義は暑かったが、オフイスビルのような現校舎では味わえない良さがあつた。

ここで私事ではあるが、学生時代の特に印象的な五つの思い出をあげたい。

①安部球場 最後の早慶戦

3年生の秋に安部球場(現在の中央図書館)閉鎖に伴い、最後の早慶戦が同球場で開催され、運よくチケットが当たっ

た私は、自身初めて最後の安部球場で観戦した。試合終了後、生徒出陣から生還された野球部OBの方々元気に校歌を歌われ、安部球場の土を持ち帰っていた姿が印象的だった。

②第40作『男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日』

上映中に昭和から平成に変わったため、シリーズ中の昭和最後の作品。

4年生の秋、大学内で映画撮影のための学生エキストラ募集のピラが配られており、なんと渥美清と三田寛子(早大生役)が明日来るとのこと。

同学年だった三田寛子見たさに翌日参加するも、正月公開の同映画に私の姿はなかったが、『日本一のホラ吹き男』(植木等主演)同様、当時のキャンパス風景を思い出す作品だ。

③本庄く早稲田100kmハイク

入学間もない5月、歩くだけなら楽勝と考え気楽に参加したが、後半いばらの道となりとなった。途中何度もリタイアを考えたが、沿道の声援と給をくれた子供たちから元気もらい、なんとか完歩することができた。

現在ロードバイクで富士山五合目まで25kmを上るヒルルク

ライム大会等に毎年参加しているが、あの100kmハイクの辛さを思えば、大抵の苦難は乗り越えられる。

④ホームカミングデー

現在は稲門祭という一大イベントであるが、政経学部出身の父に連れられて行った昭和50年頃は、大隈庭園だけを開放して小規模に行われていた。当時は小学校低学年だったが、オーケストラによる校歌演奏(初めて都の西北を聞いた!)と美味い焼き鳥は今でも覚えており、稲門祭で大隈庭園に行く度、当時の光景が蘇る。

⑤早稲田学報「親子で早稲田」

父の強い希望で、4年生の夏に応募したところ、応募者が少なかつたのかすぐに同誌に掲載された。ゼミの先生から冷やかされたりと、かなり気恥ずかしかったが、今となっては6年前に他界した亡き父とのいい思い出だ。

世田谷稲門会に参加させて

頂くことで、職場以外に校友の輪が広がり、早稲田人しか分からない話題を共有できるのはとても嬉しい。今後この繋がりやを大事にしていきたいと思う。

日弁連副会長・東弁会長の任を終えて

安井 規雄 (昭47第一法)



日本弁護士連合会の2019(令和元)年8月現在の会員総数は、約4万1000名、東京弁護士会の現在の会員総数は、約8500名で、全国52の弁護士会のうち最も人数の多い弁護士会です。

私は、2018(平成30)年4月1日から、2019(平成31)年3月31日まで、日弁連副会長と東弁会長を務めました。皆様のご指導とご支援に支えられ、なんとか1年間の任務を無事に終えることができました。

私の会務執行の基本姿勢は、第1に「弁護士活動領域の拡大を」、第2に「若手会員へのサポート」、第3に「3つの守る」、すなわち「人権を守る」「平和を守る」「弁護士自治を守る」でした。

「弁護士活動領域を拡大すること」は、これにより「法の

支配」を社会の隅々にまでいきわたらせ、司法救済が及んでいないところまで手をのばし、人権保障の充実をはかる。

「若手会員へのサポート」は、全国弁護士会の会員総数の約半分は若手会員が占めており、東京弁護士会も同様です。したがって、この若手会員を活性化することは、弁護士会の活性化・発展にもつながります。

第3の「3つの守る」ですが、弁護士使命は、国民の基本的権利を擁護し、社会正義を実現することです。「人権を守る」ことは、まさに「人権を守る」ことでもあります。「人権を守る」ことでもあります。「人権を守る」ことは、国民の基本的権利を擁護し、社会正義を実現するという使命を負っていますから、弁護士の活動が公権力の不当な圧力を受けることになれば、国民の人権が保障されないことにもなりかねません。だからこそ、弁護士自治が重要であり、また弁護士は社会的信頼を損なうような不祥事を起こして

はなりません。弁護士の不祥事に対する対応も、重要事項と考えました。

一年間は、あつという間でしたが、東弁副会長6名の協力により、「チーム安井」として全員野球にて無事任務を終えることができました。

これからも、この経験を生かしつつ、「謙虚に」、「誠実に」、「熱意をもって」弁護士の使命である人権擁護と社会正義の実現を目ざし、努力していきたいと考えています。

今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

箱根駅伝予選会

早稲田大学は今年1月の箱根駅伝で12位となったため、10月26日(土)に行われた予選会に13年ぶりに出場しました。

東京23区のいくつかの区で作る「早稲田を応援する会」では立川での予選会に応援ツアーを企画し、世田谷稲門会からも横田会長をはじめ、4人が参加しました。応援する会で幟旗を作製し、スタート地点や沿道において、全国から応援に来た多くの早稲田ファンとともに声援を送りました。



(戸田 昇/記)

来年1月2・3日の本大会には、何としても10位以内に入り、予選会での応援は今年で最後にして欲しいものです。

た。

ゴール地点にあるテレビ中継を映し出す大型ビジョンにより、10人がゴールした6番目に早稲田の名前が出たため、予選通過は間違いないと思えました。

ところが、正式の順位発表で6番目どころか、7番目8番目にも早稲田の名前が出てきません。もしかすると予選落ちかと不吉な思いが頭をよぎりましたが、9番目に名前が呼ばれ、思わず皆で拍手です。不安と嬉しさが交錯した瞬間でした。

サロン・せたがや

Y先輩の事

私がY先輩と初めてお目にかかったのは玉川会のグルメ会の時でした。その時テーブルの隣がY先輩でした。乾杯のためビールをお注ぎしようとしたところ、「私は一番搾りをお願いします」と強くおっしゃいました。

現役時代のお仕事をお聞きすると「EU、アメリカ」でトヨタ車の販売を担当されておられたとの事でした。自動車先進国の欧米で国産車を販売するご苦労は並大抵の事ではなかったでしょう。その先兵となつて日本の自動車産業の礎を築かれたのです。

Y先輩がうれしいにつけ、悲しいにつけ異国で仲間と一番搾りを飲んでる様子を想像すると胸が熱くなります。毎日飲んでいるビールも姿勢を正して飲まないといけないかなと思ってしまう。Y先輩は平成25年秋に体調不良のため世田谷稲門会を退会されました。Y先輩とは、山田光男氏(S28商)です。

(小林 昭一郎/記)

大井川鉄道

大井川鉄道は大井川河口の金谷と上流の井川を結ぶ路線で、車窓から大井川の川幅の変化が堪能できる。金谷では広大な河原が、井川では狭くて深い溪谷となる。その昔はダム建設の資材運搬や木材搬出に利用されていた鉄道だが、今はもっぱら観光で、トーマス君のSLが小さな子供たちに人気がある。SLのほかにも、各地の古い車両を譲り受けて、手を加えずに動態保存しているため、なつかしい東急車両に出会うこともある。

私はこの夏、半世紀ぶりに大井川鉄道に乗った。



高校一年生だったあの時の私は、山岳部の夏合宿で、赤石岳から北岳まで南アルプスを縦走したのだが、今も昔も、大井川鉄道の終点は井川で、赤石岳の登山口はそのほるか向こうにある。井川の駅で降りても、半世紀前の記憶はすっかり失せていた。変わらないのは、険しい山々を覆う濃い緑と、息苦しいほどの真夏の暑さだけだ。重いキスリングを背負った紅顔の高校生に、もう出会うことはなかった。

(牧 哲郎/記)

世田谷稲門会 会員異動状況 令和元年11月30日現在(正会員446名、準会員42名)

〔新入正会員〕

個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	ブロック会
金澤 修治	昭53	商	きぬた
中村 裕	平27	スポ研	西北
井上 順司	昭59	理工	玉川
犬養 岬太	平15	法	玉川
松本 隆	昭41	理工	さくら
桜井 哲雄	昭40	政経	けやき

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	ブロック
田畑 由佳	平25	スポ	きぬた
矢田 廣	昭34	法	さくら
峰 毅	平07	社会学	
水澤 正俊	平01	文	キャロット
渡辺 恵	昭57	商	玉川
米沢 理人	平10	教育	西北
川井 泰彦	昭29	理工	キャロット
藤井 厚司	昭55	政経	玉川
橋口 勲	昭41	商	キャロット
橋口 直子	昭43	文	キャロット
星野 聡史	昭26	理工	きぬた

〔入会準会員〕

正会員名	準会員名	備考	ブロック
谷口 佳代子	谷口 文彦		さくら

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話&メールアドレス
島田 實	昭40	法			
久保田 浩章	昭60	理工			
小原 祐樹	平17	政経			
吉川 文康	昭48	理工			

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			ブロック
			メールアドレス	電話	FAX	
浅沼 肇	昭40	商				
浅沼 迪子	昭40	教育				
井澤 美知恵	昭38	文				
家井 雪子	昭41	教育				
石綿 晃	昭51	法				
市川 隆彦	昭50	理工				
小山田 安宏	昭31	政経				
神谷 直希	平01	政経				
小宮山 悟	平02	教育				
佐藤 喬	昭46	理工				
杉本 賢治	昭36	理工				
宮田 知枝	昭42	教育				
若林 克彦	昭41	理工				
井口 亜由子		準会員				
加藤 直人	平07	社会学				
竹井 洋子	昭48	文				
望月 博	昭47	キャロット				
田波 直子	昭59	千歳				

事務局からのお願い:

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail;shinoshoko@gmail.com

編集後記

今年、日本を襲った二十一個の台風は、日本列島各地に大小深淺さまざまな爪痕を残し去った。特に、記録的な暴風雨圏を伴い上陸した十五号「風台風」や十九号及び追い打ちをかけるような二十一号「雨台風」が齎した人的物的被害は極めて甚大であった。被災者の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

ところで、今回の十五号台風による広範囲にわたる長期の停電や断水は、いかに我々の生活が電力や水道に依存しているかを痛感させられた二次災害となった。さながら、東日本大震災時の、地震↓津波↓原発損壊↓放射能汚染拡散のパターンをみるようだ。

それにつけても、日本の台風や米国のハリケーンの巨大化が年々進んでいる。その原因は大気汚染による気候温暖化による海水温度の上昇だと指摘され、温室効果ガスの排出規制の必要性が強く叫ばれているのだが…。

*台風を砕くミサイル 欲しくなり

*原発の闇に蠢く人や金 (大内 秀行/記)